



卓球・全日本学生選抜選手権

男子単で王が準優勝

11月29、30の両日、大予選リーグを全勝で突破、阪府門真市のなみはやドームで全日本学生選抜卓球選手権が行われ、男子シングルで王凱(商4・新潟産大附高)が準優勝を果たした。

王は初日の予選リーグを全勝で首位通過すると、その勢いは衰えることなく、2日目の決勝トーナメント1回戦をストリートで快勝した。続く準々決勝の相手は同じ専大の田添健汰(商1・希望が丘高)。田添もまた

4-2で勝利。しかし決勝では大島(早大)に2-4で敗れ、惜しくも優勝を逃した。主な入賞者は次のとおり。

【男子】厚谷武志(商3・駒澤大附高小牧高)ノ田添ベスト8

【女子】鈴木李茄(商2・青森山田高)ノベスト8

(木村健人・商1)

馬術・全日本学生賞典総合競技

総合馬術 2位



▲ 健闘した見目主将とエンドーペロー号

11月1日から5日まで、兵庫県三木ホースランドパークで全日本学生賞典総合馬術競技が行われ、専大は総合馬術部門で2位、3種目総合では5位となった。

この大会は全日本学生三大大会とも呼ばれ、障害飛越、馬場馬術、総合馬術の3競技で減点数の少なさを競う。

調教審査・耐久審査・余力審査の3種目を行う総合馬術競技は、調教で見目主将(経営3・宇都宮白楊高)・エンドーペロー号が1位、二川祥(商3・宝塚高)・ラスベガス号が4位と好発進。優勝を狙える位置にいたが、耐久と余力でミスが目立った。最終順位は見目主将・エンドーペロー号が個人で5位入賞と健闘したが、団体は昨年と同じ、2位だった。

なお、障害飛越は団体6位。馬場馬術は2頭しか出場権がなく、団体は組めなかった。

見目主将は「後輩たちには、この経験を糧に成長して欲しい」と語った。

(高田沙季・文1)

フェンシング・全日本大学対抗選手権

女子3位 男子4位

11月12日から16日まで、京都府大山崎体育館で、全日本大学対抗フェンシング選手権が行われ、専大は女子サーブルで3位、男子サーブルで4位となった。

女子サーブルは、準決勝で法大に36-45で敗れるも、日大との3位決定戦に回り、安定した試合運びで勝利し、昨年の4位より順位を一つ上げた。

(千葉ますみ・商1)

百崎千裕(ネット情報3・佐賀商高)は「優勝を目指していたので、この結果に納得はいかないが、昨年から一度も勝てなかった日大に勝利できたのがうれしかった。このチームで戦えてよかった」とコメントした。

アイスホッケー・関東大学リーグ戦



勝ち点20で優勝

最優秀選手賞に戸津主将

9月21日から11月23日まで、関東大学アイスホッケーリーグ戦が行われ、ディビジョンIグループBの専大は、6勝2分2敗の勝ち点20で優勝。個人では、最優秀選手賞に戸津寛太主将(法4・長野工高)、ベスト6にGKの戸津主将、D

9月21日から11月23日まで、関東大学アイスホッケーリーグ戦が行われ、ディビジョンIグループBの専大は、6勝2分2敗の勝ち点20で優勝。個人では、最優秀選手賞に戸津寛太主将(法4・長野工高)、ベスト6にGKの戸津主将、D

一丸となってグループA復帰を目指す。撮影・伊東

アメリカンフットボール・関東学生リーグ戦1部B | G8

優勝



▲ チャレンジマッチでも活躍が期待される和田

関東学生アメリカンフットボールリーグ戦(9月13日~11月29日、アメリカンフットボールリーグ戦)で1部B | G8に所属する専大は、6勝1敗で優勝。この結果、TOP8で8位の立教大とのチャレンジマッチ(12月13日、アミノバイタルフィールド)に臨む。

今年からリーグ戦はTOP8(上位)とBIG8(下位)に再編成された。BIG8に振り分けられた専大は、開幕から4連勝と勢いに乗るも、駒大に僅差で敗戦。続く横国大戦はWR梶川陸人と振り向き、チャレンジマッチに向けて「我々はWR和田優輝(法4・崇徳高)の活躍で勝利した。最終節の専大戦は、首く」と語った。(今井一)位ながらも負ければ3位葉・文2(写真も)

ラグビー・

関東大学リーグ戦(2部)

2位で6年ぶり入れ替え戦進出

今季は19年ぶりに勝利した関東学院大戦を含め、開幕5連勝。全勝同士の対決となった拓大戦は、専大は6勝1敗で2位。この結果、6年ぶりに入れ替え戦進出が決まり、悲願の1部復帰へ望みをつないだ。

高)が逆転のトライを決

13日、アミノバイタルフィールド)に臨む。

今年からリーグ戦はTOP8(上位)とBIG8(下位)に再編成された。BIG8に振り分けられた専大は、開幕から4連勝と勢いに乗るも、駒大に僅差で敗戦。続く横国大戦はWR梶川陸人と振り向き、チャレンジマッチに向けて「我々はWR和田優輝(法4・崇徳高)の活躍で勝利した。最終節の専大戦は、首く」と語った。(今井一)位ながらも負ければ3位葉・文2(写真も)

ラグビー・

関東大学リーグ戦(2部)

2位で6年ぶり入れ替え戦進出

今季は19年ぶりに勝利した関東学院大戦を含め、開幕5連勝。全勝同士の対決となった拓大戦は、専大は6勝1敗で2位。この結果、6年ぶりに入れ替え戦進出が決まり、悲願の1部復帰へ望みをつないだ。

高)が逆転のトライを決



チームをけん引した棚橋主将(撮影・斎藤)

◇スキー部 (経営3・旭川大高) FISワールドカップ・クロスカントリー第1戦(11月29、30日)ノフィンランド・ルカ)ノ男子スプリント・クラシカル

◇バスケットボール部

▽全日本大学選手権(11月24、30日、代々木第二体育館ほか)

【男子】ベスト16

【女子】ベスト16

◇バレーボール部

▽全日本大学男子選手権(12月1、6日、大阪市中央体育館他)2回戦敗退

国際大会 出場選手

記録コーナー